

介護 なんでも 相談室 19



松永安優美 まつながあゆみ

栃木県出身、内科医。埼玉医科大学卒。同大付属病院を経て実家の松永医院に勤務。平成3年から特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホームなどを設立。現在、医療法人「聖生会」理事長、社会福祉法人「裕母和会」会長として、医院と8つの介護施設を運営している。

Q 77歳になる父親は重い糖尿病でほとんど寝たきりです。食事療養と通院で何とか悪化するのを遅らせています。私の住まいは3LDKマンションですが、大学生の子供2人の4人暮らしなので、近くにワンルームを借り、そこで妻が父親の介護をしています。妻は父親が寝ているときに、自宅に戻り、家事をこなす毎日です。ただ、介護のために妻がパートの仕事をやめ、さらにワンルームの家賃などが重なるため、家計は火の車です。私はこの際、父親を施設にあずけた方が出費が減らせると考えていますが、妻は、こまめな食事療養をしてくれる施設はないと主張します。また、テレビを観てはおしゃべりするの好きな父親を施設に入れることに抵抗があるようです。どうしたらいいでしょうか？

A 奥様のがんばいをするのりには頭が下がではないかとの心配ですが、介護が、それも無用です。家族全体が疲弊してしまうのは好ましいことではありません。介護施設を探すことをお勧めします。

奥様は糖尿病に対する食事療法のことを気にしているようですが、その点は大丈夫です。介護付き老人ホームや特別養護老人ホーム等では嘱託医が病状を診断し、管理栄養士が食事の献立を考えます。病気に個人対応できるシステムになっています。食事はかなりバリエーションがありまっすし、カロリー管理もしっかりしています。きざみ食やペースト状の食事など、患者さんに合わせて対応しますし、もちろん食事の介助・補助もします。食事療法についてはその間に神経質になる必要はないと思います。次に、介護施設に入居するとお父様が寂しいと思